



水野勝規新作展「フィールド・モーション」プレスリリース

ARTCOURT Gallery

Contemporary art and Design

OAP ARTCOURT 1F 1-8-5 Tenmabashi Kita-ku Osaka 5300042 JAPAN

水野勝規 新作展「フィールド・モーション - Field Motion - 」 展覧会開催のご案内

音も無く、まるで静止画のような映像世界。空気と触れる緑の風景、水の動きは絶えることなく連続し、ある一場面の情景の数々がゆっくりと浮かび上がる…。アートコートギャラリーでは10月9日(金)より、若手美術作家・水野勝規の新作個展を開催します。身近な場所から広大な自然に至るまで、水野は自らが赴き、目に留まった風景を固定ビデオにおさめて作品イメージを重ねていきます。近年では、映像世界から「場(field)の動き(motion)」を創出するインスタレーション作品を手掛けており、本展では楽園をイメージしたという新作《garden》(仮)を2005年以降の作品とあわせて発表します。

作者の内面を語る比喩やストーリー、あるいは記録とも一線を画し、水野が向かう表現の場と、その動きをどうぞご覧下さい。



左より: 《garden》(仮) 2009年 / 《heron》2008年 / 《silent city》2007年 © Katsunori Mizuno

個人的嗜好なのだが、然したる変化のない時間、とりたてて言うほどの音もない空間、には魅かれるし、居心地の良さを感じる。特別な出来事や大きい事件のない社会がいいなあ。そんなふうにもよく思う。

例えば、どこへ出掛けるでもなく過ごす何の変化もない(はずの)時間には、自宅のささやかな庭先の下生えに映る光を目で追い、小さな風や生き物が動く気配や音に耳を澄ましたりする。そんな時間の過ごし方に喜びがある。

水野勝規の映像世界はまさにそういった嗜好にうってつけだ。水田であったり、空であったり、ときには日本人の魂にシンボリックに響くような風景、すなわち雲海を抱く山々や滔々と流れ落ちる滝であったりもする。しかしそれらの映像は静止画像のように、動きらしい動きを見せないことが多い。雲海は眼を凝らして見続けなければ、流れを捉え難く、果たして写真なのか映像なのか。凧の情景もしかり。そして映像作品だが、敢えて音は無い。無音の作品だ。展示空間の暗がりの中で水野の作品と対峙していると、実際の音は無くても、人間の脳はそこに適宜に音を再生することも可能だ。自分で心地よい環境に再生できる。そんなかたちの一種、インタラクティブというか観者に委ねられる部分があるのも魅力だ。

[アートコートギャラリー 代表 八木光恵]

展覧会概要

展覧会タイトル: 水野勝規 新作展「フィールド・モーション - Field Motion - 」

会期: 2009年10月9日(金)~10月24日(土) *日・月 休廊

会場: アートコートギャラリー 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F

開廊時間: 11:00 ~ 19:00 (土は~ 17:00)

◆アーティスト・トーク & レセプション: 10月10日(土) 15:00 ~

◎出展予定作品

《garden》(仮) *本展初発表の新作

ハイビジョンカラー / 時間未定 / 2009

《heron》 ハイビジョンカラー / 7分 / 2008

《silent city》 カラー / 11分 / 2007

《monotone》 モノクロ / 25分 / 2006

《monotone》 モノクロ / 26分 / 2005

主催: アートコートギャラリー (有限会社八木アートマネジメント)

協賛: 三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社・オー・イー・ピーマネジメント株式会社

【お問い合わせ】 アートコートギャラリー [八木・大場] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問合せ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449

E-mail: info@artcourtgallery.com URL: www.artcourtgallery.com



ARTCOURT Gallery

Contemporary art and Design

OAP ARTCOURT 1F 1-8-5 Tenmabashi Kita-ku Osaka 5300042 JAPAN

水野勝規新作展「フィールド・モーション」プレスリリース

水野勝規 MIZUNO, Katsunori

- 1982 三重県生まれ
- 2004 カーネギーメロン大学短期交換留学(ピッツバーグ/アメリカ)
- 2005 名古屋造形芸術大学美術学科総合造形コース卒業
- 2008 京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻造形構想修了

| 個展 |

- 2006 solo exhibition/5 artists vol.1 水野勝規展 (ギャラリーキャプション/岐阜)
- 2007 solo exhibition/4 artists vol.4 水野勝規展 (ギャラリーキャプション/岐阜)
- 2008 solo exhibition/4 artists vol.2 水野勝規展 (ギャラリーキャプション/岐阜)
- 2009 水野勝規展 ―グレースケール・ランドスケープ― (INAXギャラリー2/東京)
Shift Cube vol.4 水野勝規展 (文化フォーラム春日井・交流アトリウム/愛知)

| 企画展・グループ展 |

- 2003 国際交流展 TRANSIT2003 (アカデミアミネルバ大学/オランダ)
第1回学生メディア・アート展 (町田市立国際版画美術館/東京)
- 2004 新言語 vol.2 [リアル] (JP Café & Diner/愛知)
国際交流展 TRANSIT2004 (ワイマールバウハウス大学/ドイツ)
NGIEROF (カーネギーメロン大学/アメリカ)
- 2005 PARA/DICE (プラスギャラリー/愛知)、旅の空 (ギャラリーキャプション/岐阜)
FRAGMENT (ギャラリーレイ/愛知)
- 2006 居心地のよい場所-5 丁目44 番地の脳内旅行- (文化フォーラム春日井/愛知)
- 2007 ファン・デ・ナゴヤ美術展2007 ―他者の、他者へのまなざし― (市民ギャラリー矢田/愛知)
水の情景―モネ、大観から現代まで―展 (横浜美術館/神奈川)
インディペンデントCASO 2007 (海岸通ギャラリーCASO/大阪)
ART UNLV. 2007 (元立誠小学校/京都)、Move on Asia 2007 (Alternative space LOOP/韓国・ソウル)
- 2008 sensuous (AD&A gallery/大阪)、バーチャル.リアリティ (ギャラリーアートフェチ/愛知)
- 2009 out of place (旧嵯峨御所大覚寺門跡/京都)

| 上映会 |

- 2003 第1回超短編映画祭 (第2回北信濃小布施映画祭/長野)
- 2004 AHFF2004 水の都映画祭 イベント部門 (広島)
インディーズフィルムナガノフェス2004 (ネオンホール/長野)
イメージフォーラム・フェスティバル2004 一般公募部門 (東京など5都市を巡回)
遠い声 遠い視野 (イメージフォーラム/東京)
- 2005 イメージフォーラム・フェスティバル2005 日本招待部門 (東京など6都市を巡回)
インディーズフィルムナガノフェス2005 (ネオンホール/長野)
ムービー俳句・短歌祭 (いわき市森美術館/福島)
- 2008 イメージフォーラム・フェスティバル2008 ニューフィルム・ジャパン部門 (東京など6都市を巡回)
第13回アートフィルム・フェスティバル (愛知芸術文化センター/愛知)

| 受賞など |

- 2003 第1回超短編映画「北斎賞」<準グランプリ>
- 2004 イメージフォーラム・フェスティバル2004/一般公募部門<審査員特別賞>
- 2005 桃美会賞 (名古屋造形芸術大学桃美会)
丹波奨励生 (財団法人大幸財団による援助金助成生)
2005年ムービー俳句・短歌祭/ムービー俳句部門<入選>
- 2008 大学院市長賞・作品買い上げ賞 (京都市立芸術大学)



上: 《monotone》2006年/下: 《monotone》2005年
© Katsunori Mizuno